

H23 年度からの地上歩道運用ルール検討事項（議案）

平成 22 年 12 月 9 日

NPO 法人知床斜里町観光協会

大手旅行会社では、来年春夏の旅行商品造成が始まっている。ヒグマ活動期の時間帯枠については、まだ確定しておらず、造成がしやすい時間帯枠の設定を早期に検討しなければならない。そのため、引率者試験や養成と並行して、下記事項を優先して協議したい。

《検討課題の提起》

現行案ではヒグマ活動期の利用ルールについて、1 グループ 11 名（引率者を含む）、地上歩道に同時に入れる組数は最大 8 組となっているが、時間帯枠については確定していない。現在 15 分程度の間隔で地上歩道立ち入りをする事務局案が提示されているが、これについてはこれまでの実験結果を反映させるなどして、15 分間隔と 10 分間隔での運用方法について課題を検討し、利用調整地区制度としてより効果的な出発時刻、時間帯枠の設定を行う議論を図ることを提案する。

《検討の理由》

観光船の運行時間との接続や宿泊施設へのチェックイン・アウトの時間などとの関係を踏まえて、時間帯枠の設定や利用間隔の設定を調整することで、知床五湖の利用機会を最大化することができるため。

《検討項目》

- ◇ バスとの接続、観光船の出航・寄港時刻に対応した出発時刻の設定の検討
- ◇ 10 分間隔と 15 分間隔でのメリット・デメリットの検討
 - 10 分間隔メリット（例）
 - ・○時台、○時台の利用が集中する時間帯に対応できる。
 - ・利用間隔が短いため時間差が少なく、旅程保証などにも対応しやすい。
 - 15 分間隔メリット（例）
 - ・受付時間に余裕ができ、当日受付等の対応が比較的容易である。
 - ・空白となる時間帯が少なくなり、当日受付に比較的有利である。

《検討手順案》

時間帯枠案作成に向けて、検討項目・課題について審査部会内で意見を出し合い、次回部会までに現場感覚をもっているガイド事業者（引率者）から時間帯枠案（15 分間隔、10 分間隔）の提示をもらい、審査部会内で比較検討する。

《参考情報》

・観光船運航スケジュールとの関係

大型船下船 10 分後くらいにバスが出発

9 : 55, 12 : 10, 13 : 55, 16 : 10 がオロンコ出発時刻

(オロンコ駐車場管理者への聞き取り情報)

・路線バス・シャトルバスとの関係

路線バスは 10 : 20, 11 : 25, 14 : 00, 16 : 40 に知床五湖着

シャトルバス期間の運行については別添資料として平成 22 年運行表を参照

・10 分間隔に対する評価について

平成 21 年度実施の利用コントロール実験（第 2 回）結果報告より 10 分間隔であっても受付に混乱は生じなかったとの評価がされている。

別添資料第 3 回利用のあり方協議会資料 1-1 を参照